

No. 14, pp. 79 - 86

12. IX. 1975

寄せ蛾記

埼玉蛾類談話会 発行

YOSEGAKI ; THE SAITAMA HETEROCHERISTS' GROUP

(埼玉県蛾類分布資料 36)

—— 埼玉県のシャチホコガ科覚え書 ——

並木 椋雄 —

埼玉県では、今まで86種(市川, 1973)のシャチホコガ科の分布が記録されている。他県では、群馬県95種(布施, 1974), 長野県95種(宮田・小山, 1972), 山梨県91種という様に、隣接県での記録は90種のラインを越えている。埼玉でもその後の調査で95種の分布が確認できたので、この際に県産シャチホコガ科の再検討の意味を含め、未記録種の報告と、稀少種でその後再発見されていない種について、私の知見を記してみた。
なお、今年採集した標本についてはまだ集計等が終っていないので、くわしいデーターを省略し、またの機会に発表します。

- 1) アカシャチホコ *Gangaridopsis citrina* WILEMAN
従来の記録は三峰山のみ。筆者は次の標本を持っている。

志賀坂峠 1♂ 26. V. 1974

食草のマンサクが広く分布することから考え、そう少い種とも思われないのに今までに採れた標本は僅かである。どちらかというと深山性と思われ、谷川岳土合口などに多産することなどから、多雪地帯を好む蛾のような気がする。

- *2) トリゲキシャチホコ *Torigea plumosa* LEECH
本県未記録種。次の個体を採集した。

志賀坂峠 1♀ 1. VII. 1973

深山性で産地は限定されるだろう。また、食草がササの類で、ひらけた落葉樹林に多いような気がする。県内では稀少種と言えよう。

*3) バイバラシロシマチホコ *Cnethodonta baibarana*

MATSUMURA

シロシマチホコ (*C. grisescens*) に外見上きわめて良く似ているが、交尾器あるいは第8節腹板で区別するより方法はない。県内の標本を詳しく検してはいないが、確実に分布しているであろう。

4) ゴマダラシマチホコ *Palaeostauropus obliteratedus* WILEMAN et SOUTH

三峰山 (18. 4. VII. 1959) で記録された後、まだ再発見されていないが、江波戸氏によれば、県南部の平地からやや山地部にかけてかなり採集されているようです。

5) ノヒラトビモンシマチホコ *Notodonta basalis* WIL. et SOU.

鳩ヶ谷市および宝登山での記録があるが、最近になって中津川の中双里から三国峠にかけて、4月～5月上旬にかけてかなりの個体数が採集されている。発生期と月令・天候がうまく合えば採集は樂なものと思う。

*6) フタナミシマチホコ *Notodonta tritophus sugitanii*

MATSUMURA

県内未記録種、本年小林謙太郎氏により數頭採集された。

7) マエジロシマチホコ *Mimodonta albicosta* MATSUMURA

三峰山で記録があるが、その後、橋本で採集された。稀少種。

*8) スジモクメシマチホコ *Hypodonta linea* MATSUMURA

県内未記録種で、筆者の手元には次の標本がある。

正丸峠 1♂ 15. VIII. 1971

三国峠 2♀ 16. VIII. 1974

カバイロモクメシマチホコ (*H. pulcherrima*) は、平地から山地にかけてかなり採れるが、本種は深山性で個体数も少い。正丸峠で得られた個体は、おそらく自動車などに付いてきたものが偶然採集されたものかもしれない。

*9) シロジマシマチホコ *Pheosia fusiformis* MATSUMURA

本県未記録であり、次の標本があるので記録する。

三国峠 1♂ 16. VIII. 1974

なお、本年も同所において小林氏によって採集されている。稀少種であるが、三国峠から長野県～山梨県境の尾根付近には広く分布しているものと思われる。

- * (10) アマギシャチホコ *Suzukia amagisana* MARUMO
長野県・群馬県で採集されるので、早くから本県においても採集が期待されていたが、今年になって10頭前後が得られた。これにより、関東西部山地から上越地方にかけてかなり広く分布していることが想像されるが、飛生期が短いため得にくい種である。
- (11) タカムクシャチホコ *Takadonta takamukui* MATSUMURA
三峰山での記録があるが、再検討の要あり。
- (12) ヘリスジシャチホコ *Neopheosia fasciata japonica* OKANO
三峰山・大滝村川又・同村柏木から記録がある。稀少種であり追加記録が欲しいものです。私の経験では朝方に飛来することが多い。
- (13) クシヒゲシャチホコ *Ptilophora nohirae* MATSUMURA
三峰山で11月～12月に多数採集されている。時期が初冬のせいか私自身は採集経験がないので、今年あたりはぜひ採集したいものです。
- (14) モンキシロシャチホコ *Leucadonta bicaria* DENIS et SCHIFFERMÜLLER
三峰山・雁坂小屋で記録されているが、今年は三国峠で多数の個体を採集できた。かなり広く分布するものと想われる。
- (15) シーベルスシャチホコ *Odontosia sieversii japonica* MATSUMURA
白岩小屋で記録されているが、今年になって3頭前後の個体がえられた。
- * (16) キテンシャチホコ *Odontosia marumoi* INOUE
本県未記録種で、今年になって初めて4頭ほど採集された。前種と混生しており、時期的にはすみわけがみられ、前種が4月上・中旬に、本種が4月下旬から5月下旬に発生する。
- (17) ニセツマアカシャチホコ *Clostera curtuloides* ERSCHOFF
中津川で記録のある稀少種。私の手元に次の標本がある。
大洞川上流 1♂ 23. VI. 1974
三国峠 1♂ 16. VIII. 1974
- (18) ヒナシャチホコ *Micromelalopha troglodyta* GRAESER
宝登山で記録されているが、その後各地で少しづつながら採集されている。
- (19) セグロシャチホコ *Clostera orientalis* FIXSEN
今までに記録があるのに、埼玉県動物誌版目録に入っていない。おそ

らく見落しがであろう。平地から低山帯にかけて分布するが、個体数は少い。

⑦ (2) オオナガグロモクメ *Harpyia infumata* STAUDINGER

本県未記録であるが、私の手元に少數の標本がある。ナカグロモクメ (*H. lanigera*) より個体数は少ないようだ。

以上、未記録種及び稀少種についての知見を記してみたが、急いで書いたので、もしかしたら見落しがあるかも知れない。その節はお知らせ下さい。なお、未記録種で今後採集できそうなものは次のものがあげられる。

- 1) ウスグロシマチホコ *Epinotodonta fumosa* MATSUMURA
- 2) クワベマエグリシマチホコ *Ptilodon robusta* MATSUMURA
- 3) エゾクシヒゲシマチホコ *Ptilophora jezoensis* MATSUMURA
- 4) コフタオビシマチホコ *Glyphisia japonica* GAEDÉ

以上の4種であるが、このうちのウスグロシマチホコらしい標本が手元にあるのでよく検討してみたい。これらのほか、もしかしたら採れたらいいと希望しているのが次の2種である。

- 1) タツタカモクメシマチホコ *Cerura tatakana* MATSUMURA
- 2) ホソバネグロシマチホコ *Pisparia variegata* japonensis PAMS.

それに、再検討を要するグループとしては、ツマキシマチホコ類と、タカムクシマチホコ、シロシマチホコ、およびエグリシマチホコのグループである。最近は研究が進み、同定のまちがいは少なくなったが、シマチホコが科の内ではむづかしい方に入りそうだ。

現在筆者は三国崎附近に重点をおいて調査しているので、ツマキシマチホコ類はそう多くの個体を換していいないので何とも言えないが、今後低山帯を調べる予定でいるので、2~3年度には解決をはかりたい。

[参考文献]

- (1) 市川和夫 (1973) 埼玉県動物誌仮目録 第3集 (埼玉県教育委員会)
- (2) 宮田渡・小山長雄 (1972) 長野県産蛾類目録 第4部 シマチホコガ科
- (3) 布施英明 (1974) 群馬県の蛾 仮目録 I

(並木彬雄：川口市並木元町5番2号)

日光国立公園尾瀬ヶ原の蛾

市川 和夫

高層湿原が発達した尾瀬ヶ原は春から秋にかけて訪れる人が極めて多いが、特別保護地区のせいか最近は昆虫類の分布に関する報告が少くなっている。筆者は1972年夏に訪れた際に夜間小屋の灯火に飛来した蛾を調べたので、種名と個体の性別とを記録しておくことにした。同行された小杉昭光氏に感謝する。

〔7月27日、群馬県片品村 山鼻小屋〕

1. スジモンヒトリ *Spilarctia seriopunctata* 1♂
2. タンボヤガ *Amathes ditrapezium orientalis* 1♂
3. ヨシカレハ *Philudoria potatoria* 1♀
4. オオシロオビアオシメク *Geometra papilionaria subrigua* 1♂
5. キスジホソマダラ *Artona gracilis* 1♀ (昼間)
6. ナカモンツトガ *Catoptria porcellanella* 1♀

〔7月28日、福島県檜枝岐村 温泉小屋〕

1. キベリネズミホソバ *Agylla gigantea* 3♀♀
2. ハガタベニコケガ *Miltochrista aberrans* 1♂
3. ベニヘリコケガ *m. miniata* 2♂♂
4. モンクロアサギヒトリ *Spilarctia lutea japonica* 1♀
5. ウスベリケンモン *Anacronicta nitida* 1♂
6. ハンケンモン *Apatele alni* 1♀
7. ウスイロカバスジヤガ *Sineugrapha dysgnosta* 1♀
8. ミヤマアカヤガ *Diarsia brunnea* 1♀
9. タンボヤガ *Amathes ditrapezium orientalis* 1♀
10. マダラキヨトウ *Leucania flavostigma singularis* 2♀♀
11. シラクモヨトウ *Apamea hampsoni* ネスジシラクモヨトウ 2♂♂
12. シラオビアカガネヨトウ *Euplexia illustrata* 1♀
13. ツマジロカラスヨトウ *Amphipyra schrenckii* 1♂

14. イタマキリガ *Cosmia exigua* 2♂
 15. マルモンシロガ *Sphragifera sigillata* 1♀
 16. ウラギンガ *Chasminodes nervosa* 2♂, 1♀
 17. ハルタギンガ *Ch. hartai* 1♀
 18. クロハナギンガ *Ch. albonitens* 1♂
 19. ハネモンリンガ *Kerala decipiens* 1♀
 20. スジシロコマガ *Lithacodia falsa* 2♀♀
 21. キクキンウワバ *Diachrysia intermixta* 1♀
 22. セアカキンウワバ *Autographa pyropia* 1♂
 23. ナカジロアツバ *Hypena belinda* 1♂
 24. シロモンアツバ *Capnistis albinotata* 1♀
 25. ウチキシャチホコ *Notodonta dembowskii* 1♂
 26. コトビモンシャチホコ *Drymonia japonica* 1♂
 27. モンシロドクガ *Euproctis similis* 1♂
 28. ヨシカレハ *Philudoria potatoria* 1♂
 29. キマダラトガリバ *Macrothyatira flava* flavita. 1♀
 30. ウスベニアマトガリバ *Cymatochroa dieckmanni* 1♀
 31. ギンモントガリバ *Parapsestis argenteopicta* 1♀
 32. オオシロオビアオシマク *Geometra papilionaria* *iniqua*
 1♂
 33. ホソバナミシマク *Microloba bella* bella 1♂
 34. ミヤマナミシマク *Venusia cambrica* 1♂
 35. クロスジカバイロナミシマク *V. laria* ilaria 1♂, 1♀
 36. ソトシロオビナミシマク *Chloroclystis excisa* 1♀
 37. キスジシロエダシマク *Myrteola sericea* sericea 1♂
 38. ミスジシロエダシマク *Taeniophila unio* 1♂, 1♀
 39. ヒョウモンエダシマク *Arichanna gaschkevitchii*
 _{gaschkevitchii} 1♀

(浦和市 大谷場 1270 (1336))

埼玉の動物展 7月20日～9月20(2ヶ月間) 埼玉会館 地下資料室(浦和市
 高砂町), 主催 埼玉県教育委員会・埼玉会館・埼玉県動物誌編集委員会
 本会関係出品者は斎藤良夫(甲虫類), 市川和夫(蝶々蛾)でした。

奥武藏高原 6月末の蝶

原 聖樹

1975年6月29日(くもり)、車で奥武藏高原を散策した。そのときの確認種は次のとおり(○=新鮮、◎=鮮度中間、●=汚損)。

なお、キマダラレリツバメの関東初の記録地である名郷付近には、山梨県上野原・神奈川県佐野川の本種の生息環境と同様の場所がある(食樹はソメイヨシノ)。そして、この様な環境は名栗川の中流域に数ヶ所見受けられた。

1) 大野峠 付近

ダイミョウセセリ	1♀○, 3♂●	ヒメキマダラセセリ	1♀・1♂○
クロアゲハ	1♀	カラアゲハ(春型)	1♀○
モンキチョウ(夏型)	1♀●, 1♂○	スジグロシロチョウ(夏型)	1♀・1♂○
ウラギンヒョウモン	3♂○	コミスジ	1♂●
アカタテハ	1♂○	ヒメウラナミジヤノメ	1♀●
クロヒカゲ	1♂	コジマノメ	1♂●

2) 堂平山頂 付近

ダイミョウセセリ	3♂○	キアゲハ(夏型)	1♂○
モンキチョウ(夏型)	2♀・3♂	コミスジ	2♂●
ヒメウラナミジヤノメ	1ex. ●	コジマノメ	1♂●

3) 堂平山頂 ~ 笠山峠

ダイミョウセセリ	1♀○	ヒメキマダラセセリ	1♂
スジグロシロチョウ(夏型)	1♂○, 1♀○	コミスジ	1♀●

4) 堂平牧場

キチョウ(夏型)	1♀○
----------	-----

5) 犀父市 定峰

モンキチョウ(夏型)	多数♀・♂	ベニシジミ(夏型)	1♂○
ツバメシジミ(夏型)	2♂○		

6) 犀父郡 横瀬村 松枝

ウラゴマダラシジミ	1ex. (飛翔)
-----------	-----------

7) 入間郡 名栗村 名郷

モンキチョウ(夏型)	1♀・2♂○, 1♂●	ベニシジミ(夏型)	1♂○
ルリシジミ	1♀		

8) 名栗村 山中

スジグロシロチョウ(夏型) 1♂○, 2♂○

トラフシジミ(夏型) 1♀○ イチモンジチョウ 1♂○

(神奈川県津久井郡津久井町中野 617 北相模)

(埼玉県蛾類分布資料 37)

—志賀坂峠の *Catocala* —

布施 英明

1968年9月15日に埼玉・群馬県境の志賀坂峠で、若干の *Catocala* を採集したので、資料として記録しておく。

1) *Catocala fraxini jezoensis* MATSUMURA
ムラサキシタバ 2♂

2) *Catocala dissimilis* BREMER et GRAY
エゾシロシタバ 3♂ 1♀

3) *Catocala nubila* BUTLER
ゴマシオキシタバ 2♂ 3♀

(群馬県藤岡市下栗須 1,129 (T375))

短報

上福岡でコエビガラスズメ

埼玉の動物展の“相談日”には、
多くの人が標本を持参してきたが、
それらの中に次の標品がみられた。

Sphinx ligustri constricta
BUTLER コエビガラスズメ

1 ex. 6. VIII. 1975

埼玉県上福岡市、大島聰(採集)
(市川和夫)

山口貯水池畔で
フトオビホソバスズメ

東京都との境に近い狭山丘陵の
山口貯水池西岸の山林中で目撲し、
写真を撮影したので報告する。

Oxyambulyx japonica ROTH-
SCHILD フトオビホソバスズメ

1 ex. 5. VII. 1975

(小杉昭光)